



千葉労働動報

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.12.1 No. 4304

南争速報No.31

ストライキ3日目に突入



▲ 熱気あふれるスト総決起集会 (11/28)

全支部の先陣を切って スト突入―千葉運転区支部―

千葉運転区支部は、十一月二八日、一時五三分―一行路より全支部の先陣を切り、一・二八〇―二・一七二時間ストライキに突入した。
支部組合員も続々と観光物産センターに結集し、泊り行路二〇名、事務二名が整然とストライキに決起した。その後一八時より開催された動労千葉総決起集会に参加し、四八〇名の仲間とともに集会の大成功をかちとった。

科定期総会が八五名の結集で開催された。勝浦・御宿地区の組合員は、勝浦市民会館で開催された勝浦支部解散大会、そして鴨川支部結成大会に合流し、鴨川運輸区を動労千葉の拠点にする闘いの出発点を確認した。
三〇日は、全支部組合員・来賓・他支部の応援を含め一二〇名以上が千葉市民会館に結集し、一三時より第一九回支部定期大会が大成功のうちに開催され、勝浦運転区廃止の怒りとともにストライキを最後まで貫徹することを確認した。

九五年度千葉運転区支部役員

役職名	氏名
執行委員長	榎 裕明
副執行委員長	小倉 邦夫
書記	古川 政史
執行委員長	山口 世修
執行委員長	若林 太海
執行委員長	山口 俊雄
執行委員長	神崎 良博
執行委員長	大木 孝
執行委員長	平野 文雄
執行委員長	関 和俊
執行委員長	宮重 芳正
執行委員長	花崎 浩克
執行委員長	田中 光一
執行委員長	小柴 光一
執行委員長	五十嵐 和夫
執行委員長	大野 和茂
執行委員長	道野 和弘
執行委員長	入倉 英

新たな闘いに起つ
安西新執行体制
を確立!

京葉支部本部
定期大会(1/30)

一九九五年度京葉支部執行部

支部長	副支部長	書記	執行委員	特別執行委員	執行委員
安西 信一	石川 義雄	野村 康哉	青藤 市郎	関 寿	鈴木 文男
			中村 康幸	征矢 良一	福辺 等
			伊藤 昭一	市原 博昭	川上 孝夫
			加藤 幸男	青山 浩	

京葉支部は、闘争期間中の一月三〇日、千葉市弁天町会館において、津田沼支部の仲間も結集して、第八回定期大会を開催した。
さらに勝浦支部より二名の仲間も大会に参加し、「昨日、解散大会―鴨川支部結成大会を行い、勝浦・御宿地域班も併せて結成した。今後も地労委闘争、勝浦市議会での取り組みを含めて、運転区を復活させる闘いに決起したい」と力強いあいさつを全体のものとした。
大会には、来賓として本部・田中書記長より、「今回の闘争は、みんながひとりのために、ひとりがみんなのためにという、労働運動の原点を守った闘いだ。勝浦運転区廃止攻撃との闘いは、七二時間ストで終わったわけではない。ここから出発の闘いだ」と闘争の意義を訴えた。
①、店舗廃止で、駅本務と検修

関係に配転となるが、経験もなく、実質的には新入社員と同じ扱いとなるべきだと思ふ。そのため教育期間などはどのぐらいあるのか?
②、運輸区において、台風とき電車がないという中で、自分の責任において出勤するのが当たり前。自分の車で来い。前夜すればよいなどという指導が行なわれている。
等々の意見・質問が出され、全体情勢を含めて意志統一がなされた。
闘争において組織拡大を実現!
京葉支部は、JR千葉支社の「聖域」とされてきた、京葉運輸区において今次闘争期間中に、一名の仲間の結集を勝ちとった。一二月からは勝浦からの配転者を含め、動労千葉の一大拠点となることになる。
大会は、その後、安西新支部長を選出し、新たな闘いに起つことを確認した。